

恩田地区(12月末)

世帯数 6,170戸 (-5)

総人口 12,550人 (-1)

男: 6,141人 (-2)

女: 6,409人 (+1)

恩田だより



2月号 (505号)

発行年月日 2022年2月1日

発行 恩田ふれあいセンター

地域づくり協議会

TEL/FAX 21-0349

地域の情報ホームページは左のQRコード

令和3年度

恩田小学校児童【6年生】人権標語



【特選】

差別なし みんながすると 笑顔あふれる 福田 琉音

【入選】

気付いてる? その一言が 武器になる 乾 桃々果
 ふわふわ言葉は みんなを笑顔にする一歩 須田 結香
 人はみんな家族だ 廣松 香好
 人は自由の権利を持っている 土肥 司
 差別をなくし 平和な未来を! 正木 彩華
 差別なく 自分らしく 生きていこう 末松 珠那
 だめぜったい 差別は一番の 嫌がらせ 紀藤 悠斗
 がまんせず ハッキリ言おう 助けてと 宇都宮 駆
 いじめだよ ぼくは絶対 許さない 田戸 惇大
 たくさんの 温かい気持ち 受け取ろう 松屋 幸乃

赤い羽根共同募金の御礼



自治会を通して寄せられた地区の皆様、子ども会、各事業所の皆様の温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。



募金総額 1,804,342円

地区内事業所(順不同・敬称略)

東整形外科 ぶじもと内科胃腸科医院
 アミカペットクリニック 永田消化器内科クリニック
 沖本歯科クリニック パルホーム英工建設株式会社
 株式会社三ツ輪モーターズ 三嶋電業株式会社
 グリーン歯科医院 みなと歯科
 近本眼科 有限会社広橋瓦工事店



交通指導員(急募)

宇部市交通安全協会恩田分会
恩田地域づくり協議会

ピンチです!地域の交通安全を見守っている交通指導員の高齢化が進み、活動に支障をきたす状況になっています。交通安全活動に関心のある方、社会貢献活動に関心のある方、子どもたちの笑顔と触れ合いたい方、多数の応募お待ちしております。恩田ふれあいセンターまでご連絡ください。

【応募資格】

- ・恩田地域にお住まいの方(男女問いません)
- ・お仕事に支障がない範囲での通学時間に交差点での見守り活動可能な事業所の方

【定期的な活動】

- ・児童の登校時の(国道)交通指導
- ・春・夏・秋・年末の交通安全運動の啓発活動

【臨時的な活動】

- ・地域の祭事などでの交通整理



お知らせ

まん延防止等重点処置が適用されましたので各行事が中止となりました。

2/13(日) カローリング大会

2/20(日) 人権教育推進大会

その他、各行事等に関しましては各団体またはセンターまでご連絡下さい。

山口銀行出前講座【募集】

知っておくといざという時に安心

主催 まちづくりサークル(竹中世紀子会長)

日時:2月25日(金) 10:00~11:00

場所:恩田ふれあいセンター 2階会議室 **リモート開催予定**

申込:締切り2/24 センター (21)0349までお申し込みください

内容:「キャッシュレス講座」

政府のポイント還元など話題の「キャッシュレス決済」:この決済の仕組みや種類、利用のメリットやデメリットなど基礎知識を学びましょう。どなたでもお気軽にご参加ください。



2月の健康相談(ご案内)

担当 高橋保健師、南部第1高齢者総合相談センター(秋山)

日時:2月16日(水) 10:00~11:30

(毎月第三水曜日)

場所:恩田ふれあいセンター 1階広報室

申込:不要

「2月は、体組成測定です」



延期されていたウィンドウアートを2月26日(土)に開催予定 詳細はHPへ



2月の行事予定



2月の行事予定				~燃やせないごみの日~		
				15	火	15:30 支え合い会議 センター
						10:00 ひよこミルク 中止
2	水	9:30	母推定例会	16	水	10:00 健康相談 センター
		14:00	民児協月例会			13:30 オレンジほっとサロンin則貞 則貞会館
3	木	18:30	地域づくり三役会			19:00 おんだ翼役員会 センター
4	金	19:00	ふれあい運動例会	18	金	19:00 恩子連定例会 センター
7	月	18:30	地域づくり役員会	19	土	10:00 子どもの人権学習会 センター
8	火	9:30	老連理事会	20	日	9:30 恩田地区人権教育推進大会 中止
		19:00	体振役員会			
9	水	9:00	交通役員会	22	火	7:20 自治連あいさつ運動 各拠点
		19:00	おんだ翼例会			13:00 オレンジほっとサロン センター
11	金	10:00	オレンジほっとサロンin五十目山			19:00 体振役員会 センター
12	土	9:30	自治会長研修会	27	日	9:30 防災訓練 恩田小

人権作文



私たちが守ること

常盤中学校 一年 河村 瞳

近くでコロナが出たらしいよ。「誰なのかな?」
「どこで出たのかな?」どこの学校?どこの地区なの
かな?」新型コロナウイルス感染症が世界中に広
がって、よく耳にした会話だ。私も言っていた。テレ
ビで感染がどんどん拡大していく様子が毎日伝え
られた。百分もなったらどうしよう。」と、とても怖
くなった。

私の母は、看護師をしている。母に「コロナがう
つたらどうするの?」コロナの患者さんが来たら、
お母さんにうつってしまふんじゃない?大丈夫なの
?」と聞いたことがある。母は、お母さんも十分に
注意して仕事をしている。だけど、不安になるのは毎
日だよ。だけどね、一番きついのはコロナにかかって
しまった患者さんだよ。みんな不安でいっぱい。だか
ら、病院に来るの。その不安を、病院でさらに不安に
させたらいけないでしょ?病院では、みんなでその
不安を取ってあげているの。」と言われた。

私は、はっとした。テレビでは感染者の方がとても
苦しい思いをしているという話も聞いた。とても心
が痛くなった。どこで感染したとか、誰が感染したか
を気にするのはなく、自分たちで感染を少しでも
広げないようにしないと、私はそのとき
強く思った。

日々、新型コロナウイルス感染症の情報がたくさん入って
くる。夏休みにもどこにも行けなかった。両親に忍
んでうちは遊びにいけないの。九州のじいじのここ
ろに行きたいのに、どこにもいけない。」と言った。母
は、だくさん遊びに連れて行ってあげたい。ご飯も
食べに連れて行ってあげたい。だけど、今は我慢。
きつといける日が来る。九州のじいじのところにも
絶対行けるから、今は我慢。」と言われた。母方の祖父
は九州に住んでいる。毎年、夏休み、冬休みには必ず
会いに行っていた。母方の祖母のお墓参りにも毎年
行っていた。しかし、新型コロナウイルス感染症がやはり始め
て、本当に行くことができていない。たぶん、九州に
行くことができなくて一番つらいのは母だと思う。
「じいじ元気かな。私が中学生になってから会えてい
ないから、セーラー服姿も見せていないし、お兄ちゃ
んの野球の姿も見えてもらえていないな。」そう母に言
うと、母は、行けなくても、元気なことは他の方法で
も伝えることができるよ。」と言って、携帯電話を出
してきた。携帯電話のSNSを使って、私たちの写真
や動画を送ってくれた。祖父もとても喜んでくれた。
私は新型コロナウイルスのワクチン接種を行った。本当は
嫌だった。注射が嫌いだからだ。それに、テレビでワ
クチンを受けた人が体調を悪くしたなど色々な情報
が入っていたからだ。だけど、接種した。それは

自分のためでもあり、周りの人のためでもある。私は祖
父母と一緒に住んでいる。父や母は仕事もしているから、
熱が出たときは祖母が面倒をみてくれる。そんな中、も
し私がコロナにかかってしまつて、体調を崩してしまつ
たら、たくさんの負担が増えてしまう。コロナワクチン
による効果がどのくらいあるのか、私にはよくわからな
い。だけど、私は周りの負担が減るのなら打って良かつ
たと思う。しかし、ワクチンを打っていない人に対して、
なんで打たないの?」おかしいよ。」などの差別は絶対
にしない。打つ、打たないは、人それぞれの考えであるた
めだ。

いろいろな行事がなくなつてしまつていく日々。とて
も辛い。でも、私が今できることは、感染を広げないよう
にすることだ。両親から我慢よ。」と言われて反抗したこ
ともたたくさんあった。しかし、きつとこれからは、私たち
が感染予防を心がけることで将来が変わっていくと思う。
我慢」から、未来」へつながっていくと考えている。今、
私たちがやるべきことをやれば、道はできてくると思う。
それは、中学生とか大人とか、おじいちゃん、おばあちゃ
んとか関係ない。すべての人が同じ思いで、このコロナ
に関わっていくことで、新たな生活ができていくと思う。
もう少し、みんなで頑張っていこう。自分の周りでコロ
ナの感染が起きてても、その人たちの気持ちを考えた行動
を取ろう。

どんどん拡大していく新型コロナウイルス感染症。私たちの生
活を変えたコロナ。不安や悲しみを強くさせたコロナ。
私ができる「手洗い」「うがい」「マスク着用」は、絶対
守っていききたい。そして、今、コロナに関わっている人々
に感謝の気持ちを忘れず、新しい生活、行動を実践して
いくようにしたい。また、友達にも自分を感染から守り、
自分から周囲に感染を広げないことを心がけていくこと
が大切だと、伝えていきたい。

一人ひとりが未来へ

恩田小学校 六年 飯田 紗由希

そもそも人権って何だろう。ネットで調べてみるとい
ろいろなことが分かりました。法務省は人権をこう定義
しています。

「人権とは、人間が人間らしく生きる権利であり、誰に
とつても身近で大切なもの、違いを認め合う心によつて
守られている。」と。簡単にすると一人ひとり違って、自分
が一番合った生き方をすることが幸せで、その幸せは、誰
もじゃまできない、ということだ。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催さ
れました。自分のできる最高のパフォーマンスを大きな
舞台でひろうる選手の姿は、選手にとつてもとても幸せ
なことだろうなと感じることができました。

その中でも、私がとても感動したのは東京パラリン
ピックです。開会式・閉会式では、目の見えない人、手足
のない人、背がとても高い人、逆にとても低い人、他にも
色々な障がいのある人達が、歩く・走る・歌う・踊る・
動く。自分自身の障がいを認め、自分にできる最大限の
パフォーマンスを一杯やっている姿にすごく感動しま
した。パフォーマンスをしている人達みんなが笑顔で、
自分らしく堂々としている様子を見て、彼らも選手と同
じで幸せを感じられる舞台であつたのだろうと思いま
した。

そう思った時、また違った感想も持ちました。開会式
を見ていた時の母との会話です。紗由希は、目が見えな
い、手足が不自由な人たちを見てどう思う?」
「私は、障がいがあつても自分を表現することができ
るのはすごいと思う。」

でも母はこう言いました。
でもね、世の中には、障がいを持った人に対して、悪く
言う人もいるんだよ。」と。どう悪く言うのか考えられな
いし、考えたくもありませんが、そんな気持ちを持つ人
がいることを知り、とてもショックを受けました。
障がいがあるかどうかということもそうですが、自分
と違つたり、知らない人がいたりすることをどうして認
めようと思わないのでしょうか。人と自分を比べるのってお
かしいと思います。

たくさんの人たちの中に、自分と違つた人がいると、
その違う一人をのけ者にしてしまうのはなぜでしょう。
その行動が、その人の心をどれだけ傷つけているか、考
えられる心は持っていないのでしょうか。

私は幼稚園の頃からある武道を習っています。その教
えの一つに、

「しっかりと自分を作つたあと、他人の幸せのため
に行動する。そして私もあなたと一緒に楽しく生きてい
こう。」というものがあります。私は、私の幸せのために、
しっかりとした人になりたいし、自分と何か違つても
その人を認めることができ、たくさんの人と楽しく生き
ていきたいと思えます。

私は男女関係なく接することができるし、障がいのあ
る人を見ても、嫌な感情はわいてきません。世の中の人が
みんなそうとは限りません。ですが、私のこの小さな
一歩が、周りの人たちに良い影響を与えることができる
とうれしいです。